



## ブルテン 5

### チーム監督&ドライバーブリーフィング資料

金曜日の午前 10:45 に必須のドライバーブリーフィング をドライバーブリーフィンググループで行います。富士大会から参加のドライバーは、ブリーフィンググループで金曜日の 09:00 - 10:30 に公式写真撮影がありますので、2023 年度の正しいレーシングスーツおよびシューズを着用して ブリーフィンググループに来ることが**必須**となります。ドライバー宣材写真撮影スケジュールを参照のこと。

#### 必須のフロントロー・スタートドライバー・ブリーフィング - レースディレクターオフィスにて

土曜日 12:45 - レース 1 の GT3 および GT4 のフロントロー・スタートドライバー

日曜日 10:30 - レース 2 の GT3 および GT4 のフロントロー・スタートドライバー

GT3 および GT4 の 1 位および 2 位のスタートドライバーはレースディレクターからブリーフィングが行われます。

無線チェック - 毎日最初のセッション前に無線チェックを行います。無線チェックでは、「ok」と当該カーナンバーをチームメッセージアプリで返信することが必須となります。1 日の最初のセッション前のみで、各セッション前ではないことにご注意ください（リクエストのあった場合は除く）。

#### レースコントロール、レースディレクターおよび SRO オフィス:

必要があれば、この週末中にドライバーはレースディレクターに会うよう呼び出されることがあります。レースディレクターのオフィスはレースコントロールビルの 2 階、計時室の向かい側にあります。

SRO オフィスは 11 番ピットの上、2 階のクリスタルルーム A です。

レースディレクターとの主なコミュニケーション手段はレースコントロール無線のチャンネル、チームメッセージアプリです。セッション中にレースディレクターがチーム監督に話す必要がある場合は、リクエストされたらレースコントロールにお越しください。

#### ドライビングスタンダード:

すべてのドライバーは、全セッション中コースに出ている時は注意すること。GT4 車両は追い越しする前にミラーを見て、近づいてくる車両がないことを確認し、GT3 車両は GT4 車両を追い越すときに注意しなければなりません。自分が速い車両である場合、遅い車両を避ける方法を見つけるのは自分の責任であることを忘れないでください。遅い車両は自身のラインを維持しなければなりません。不注意な運転には厳正に対処します。ドライビングスタンダードは非の打ちどころのないものでなければなりません。すべての GT3 車両は常時ライトを点灯しておかなければなりません。



### ピットレーン:

ピットレーンの制限速度は**時速 50 キロ**です。

ストップ・ゴーペナルティの場所は 自チームのピット前です。各チームがペナルティ消化について責任があります。

### ガレージから離れる時/ピットレーンの場所:

GT3 車両には、公式プラクティス 1 および 2 の開始前に、**最初に**ピットレーンの自身の場所から離れてファストレーンに並ぶ許可が与えられますが、これは無線メッセージまたは計時画面のメッセージによってレースコントロールからシグナルが出された後に限られます。

GT4 車両にはそのすぐ後に 2 回目のシグナルが出され、ピットレーンから離れることが可能になります。シグナルより前に動いた車両は検証の対象となります。

どのセッションの開始時でも、車両を正しい位置に置くためにスケートの使用が認められます。

公式プラクティスセッションと最初の予選セッションの開始時、および両レースの車両リリース時に、リリースされるすべての車両はノーズをピット出口に向かって 45 度に停めてからリリースすること。

上記セッション中にピットに戻る際は、車両をピットレーンに平行して停めなければなりません。GT3 の Q1 と Q2 の間、GT4 の Q1 と Q2 の間は、スケートは使用できません。

車両をガレージに戻すために全セッションの終了時にスケートを使用することが認められますが、各カテゴリーの予選セッション終了時— GT3 の Q2 終了時と GT4 の Q2 終了時を**除きます**。これらの時は車両がパルクフェルメ下に置かれ、スケートの使用は認められません。

いかなるセッション中もピットレーンでの追い越しは禁止です。

レースでのピットストップ中は、「ピットストップ作業」が完全に完了し、車両がレースに再参加する**準備ができた場合にのみ**、車両は**離れる/移動する**ことができます。車両はファストレーンに直接進入しなければなりません。自身の場所を離れた後にファストレーンで停止したり、ファストレーンを不適切なペースで走行したりした車両は（不可抗力を除く）、検証の対象となります。不適切なペースとは、時速 40 キロ未満で、ピットストップ時間を延長するために使用していると見なされます。

### トラックリミット:

トラックリミットは、レースコントロール TV とともに審判員を用いて、特にターン 3、13、15 に焦点を当ててコース周辺で監視されます。トラックリミットの裁定には異議を申し立てることはできません。

レースでのトラックリミット: 警告 3 回、違反 4 回目はドライブスルーペナルティ (車両に対する) となります。



ターン 16 でトラックリミット違反があった場合、当該周回とその次のラップタイムが削除されます。ラップタイムの削除は該当ラップ終了後に通知されます。

2 周回が削除される場合は 2 周目以降に情報が出されます。

**公式プラクティス 1:**再犯者には黒旗が出される可能性があり、両ドライバーがレースコントロールに出頭すること。

**公式プラクティス 2:**トラックリミット違反のあった周回に出したラップタイムは削除されますが、周回数はカウントされます。

**予選:**トラックリミット違反のあった周回に出したラップタイムは削除されますが、その周回は予選ラップとしてカウントされます。

**レース:**トラックリミット違反は、無線および/またはモニター画面を通じてチーム監督に通知されます。3 回目の違反の後、車両には黒白旗が出されます。4 回目の違反ではドライブスルーペナルティが科せられます。さらに違反した場合は、再度黒白旗が出され、レースの残り期間でさらにドライブスルーペナルティが科せられます。

### 予選

すべてのドライバーは、予選セッションでレースに出走する車両と正しいセッションで 1 計測周回 (アウトラップとインラップを含まない) を完了しなければなりません。セッションについては発行されたスケジュールを参照してください。ドライバー ID は正しくなければならぬので特に注意してください。ドライバーは、公式プラクティス 2 でも計測周回を 1 周する必要があることに注意してください。

### グリッド:

レースのカウントダウン手順については大会ブルテンを参照してください。

すべての車両はグリッドへの試走を複数回行うことが認められておりますが、出口のシグナルが赤の時はいかなる車両もピットレーンを離れることはできません。

グリッド上のグリッド位置に停止するすべての車両は、隣の車両との幅を確保し、車両が通過できる十分なスペースを残さなければなりません。

大会ブルテン- レースのカウントダウンを確認。スケジュールが遅れる場合がありますので、最新情報についてはレースコントロール無線とメッセージアプリをご確認ください。

### レーススタート:

各車両/クラスのスタートドライバーはスタートドライバーエントリーリストをご確認ください。

各車両/クラスのスタートドライバーはスタートドライバーエントリーリストをご確認ください。

フォーメーションラップの終わりには、ローリングスタートのためにすべての車両がしっかりとグループ化されて整列しなければなりません。車両はターン 10 までにウィービングをやめ、ターン 16 までに 2 台ずつ整列しなければなりません。ドライバーはボックス上を 2 列で通過します。ペースカーは時速 50 キロの速度で進み、ピ



ットレーン内の右側にはけます。ポールポジションの車両は、レーススタート前に徐々に速度を上げ、最大時速 110 キロまで上げなければなりません。車両は 2 列に並んだままボックス上を通過しなければなりません。レースは、ライトの消灯と同時にスタートとなります (GT3&GT4)

ボックス上に並んでいない車両は検証対象となり、審査委員に照会されます。

### ピットストップ/作業ライン:

作業ラインは、ガレージの外側の黄色のラインによって定義されます。

ピットボックスのマーキングは作業ラインの外側から 75cm 離れていなければなりません。ブルテン 2 通りです。

ラインを越えたチームメンバーはピットストップ中に活動しているとみなされます。車両がピットレーンに到着する前に外に出られるのはカーコントローラーのみです。車両は、自ピットボックスから 3 ボックス以内のところまで来た時のみ、自分の作業場所に移動するためにファストレーンを離れることができます。チームメンバー/ドライバーは車両が停止してからのみ、ラインを越えることができます。停車する前ではありません。

最大 2 名のタイヤメカニック(緑色の腕章)、メカニック (第 38.1 条に記載されている限定された活動)、およびカーコントローラー (白色の腕章) がピットレーン側にいることを認められます。ラインを超えて立っている追加の人員は作業しているとみなされ、作業人数に含まれます。

タイヤは車両が停止するまでラインの後ろに置かれたままであること。

車両は安全にリリースできる場合にのみ、ファストレーンに直接進まなければなりません。

必須のピットストップ時間とピットウィンドウについては、大会ブルテン 1 を確認してください。

常時、最大 1 つの腕章を着用できます。

作業ピットレーン内のすべてのチーム員は、ピットレーンで作業している間、難燃性のオーバーオールとヘルメットを着用しなければなりません。

### フルコースイエロー手順

カウントダウンの後、モニターに「FCY」というメッセージが表示され、チーム無線で「フルコースイエロー」という指示が出されます。

黄旗の振動提示と「FCY」ボードが、すべてのマーシャルポスト、コントロールラインおよびピット出口で提示されます。この時点で、すべての車両は時速 80km でなければなりません。レースディレクターまたは審査委員が安全上の理由として認めた場合を除き、FCY ボードが出された瞬間から追い越しは禁止されます。これは黄旗が振られる前である可能性があります。

車両は一列縦隊で一定の速度で進まなければなりません。速度は監視され、所定の速度を超えた車両は審査委員に報告され、ペナルティが科される場合があります。





ピットレーンの出入口はオープンのままとなりますが、ピット出入口の最高速度は時速 80km となります。ピットレーンに進入する車両は、セーフティカーライン 1 を通過したのち、上記の速度制限に従い、コース上の車両を追い越すことができます。ピットレーンを出る車両は、セーフティカーライン 2 に到達するまで、コース上の他の車両に追い抜かれる可能性があります。問題が解決すると、コースはグリーンに戻り、モニターとチーム無線で情報が伝えられます。また、問題が解決しない場合にはセーフティカーが導入される場合もあります。

### FCY 後のセーフティカー介入

セーフティカーの導入が必要となる可能性のあるインシデントの開始時、セーフティカーが導入される前にフルコースイエロー期間が宣言される場合があります。この場合、セーフティカーはライトを消灯した状態でコースに加わり、先頭車両に到達するまでコース上の車両を追い越します。先頭車両を捕まえるとライトを点灯し、SC ボードが表示されます。

### セーフティカー:

セーフティカーの手順は ISC の H 項に基づいています。セーフティカーの導入が命じられると、すべてのマーシャルポストで黄旗の振動提示と SC ボードが提示されます。サーキット上の黄色のライトが点灯します。車内シグナルディスプレイもセーフティカー LED シーケンスを点灯します。

セーフティカーはピット出口からリリースされ（1 周目を除く）、1 コーナーでコースに合流してレースリーダーを捕まえることに努めます。

車両はセーフティカーの後ろで、できるだけ早く安全に整列し、車間距離が 5 車身以内でなければなりません。追い越しは、セーフティカーオブザーバーからの手信号によって追い越しを指示されない限り、禁止されています。セーフティカーが導入されているとき、車両はピットレーンに進入することができますが、ピットレーンの端にある信号がグリーンに点灯している場合のみコースに復帰することができます。セーフティカーと後続車両の列の最後の車両がピット出口を通過しようとしているときを除き、常に点灯しています。セーフティカー ライン 1、セーフティカー ライン 2、およびピットの入口と出口のブレイクラインは尊重されなければなりません。

セーフティカーが呼び戻される時、ターン 9 でライトを消灯し、この周回の終わりにピットインすることを知らせます（車内シグナル表示では緑色の LED が点灯する場合があります）。SC がピットに入るときは、ラインを横切るまで列の先頭車両がペースを決定します。最後の車両がコントロールラインを通過すると、黄旗と SC ボードは緑旗に置き換えられます。車両はコントロールラインを通過するまで追い越しをしてはなりません。



### 赤旗

公式プラクティス 1&2 および予選中。すべての車両は直ちに時速 80 キロまで減速し、追い越しをせず、自ピットの位置に戻らなければなりません。

### パルクフェルメ:

公式プラクティス1 および 2 後: レースディレクターは、選ばれた車両をガレージ内でパルクフェルメ条件下に置くよう指示する場合があります。

予選後: 選ばれた車両は車検に送られます。 - ピット入口 (援助のために 2 名のメカニックを派遣)。その他のすべての車両はパルクフェルメ条件下でガレージに戻されます。ピットウォークは 10:40 に始まりますので、指示通りに展示してください (車両はパルクフェルメ条件下となります)。

レース 1 および 2 後: 表彰台対象の車両は、パルクフェルメ条件下で表彰台の下に停止するよう指示されます。パルクフェルメ条件にある他のすべての車両はガレージに戻ります。

表彰式に必要な車両: GT3 総合 1 位 2 位 3 位、GT3 プロ - アマ、GT3 アマ、GT4 の優勝車両

表彰台を獲得した他のすべてのペアドライバーは、直ちに表彰台に行かなければなりません。

アラン・アダム  
レースディレクター